

Technical Information

TI 04L41B01-04JA

Daqstation
DX Report Simulator
操作説明書

DXAdvanced.

はじめに

ご使用前にこの操作説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気きのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

■ 商標

- 本書で使用の当社製品名またはブランド名は、当社の商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows XP、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Acrobat、および Postscript は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本書では各社の登録商標または商標には、™ マーク、® マークは表示していません。
- 本書で使用の各社製品名は、各社の商標、または登録商標です。

■ オープンソースソフトウェアの使用について

DX Report Simulator における帳票作成部は、Expat のソースコードを使用しています。Expat のライセンスにしたがい、コピーライト・配布条件およびライセンスを原文（英文）にて記載します。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

ご使用にあたっての注意

■ この手順書における説明の範囲

このマニュアルでは、Windows XP などの OS の基本的な操作については説明していません。OS の基本的な操作については、それぞれのユーザースガイドなどをお読みください。

■ 本ソフトウェアの免責

- ・ 当社は、当該ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。
- ・ 当該ソフトウェアのご使用により、お客様または第三者が損害を被った場合、あるいは当社の予測できない当該ソフトウェアの欠陥などのため、お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

■ ソフトウェアの取扱注意

- ・ 当社は、当該ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。
- ・ 当該ソフトウェアを、バックアップの目的以外でコピーすることは、固くお断りいたします。
- ・ 当該ソフトウェアの逆コンパイル、逆アセンブルなど（リバースエンジニアリング）を行うことは、固くお断りいたします。
- ・ 当該ソフトウェアは、当社の事前の承認なしに、その全部または一部を譲渡、交換、転貸などによって第三者に使用させることは、固くお断りいたします。

Daqstation DX Report Simulator 操作説明書

TI 04L41B01-04JA

目次

はじめに.....	i
ご使用にあたっての注意	ii
1. DX Report Simulatorとは	1-1
1.1 必要なもの	1-1
1.2 機能.....	1-1
2. レポートファイルを出力する	2-1
2.1 DX Report Simulatorを起動する	2-1
2.2 設定ファイルを指定する.....	2-1
2.3 テンプレートファイルを指定する	2-3
2.4 レポートファイルの保存先を指定する.....	2-3
2.5 レポートファイルを作成する	2-4
3. レポートファイルの内容を確認する	3-1
3.1 日付、時刻の表示について	3-1
3.2 数値の表示について	3-2
3.3 エラー表示の例.....	3-3
4. メッセージと対処方法.....	4-1
改訂情報.....	i

1. DX Report Simulator とは

DX Report Simulator は、DX1000、DX1000N、および DX2000 で使用する帳票テンプレートを確認するためのシミュレータです。

1.1 必要なもの

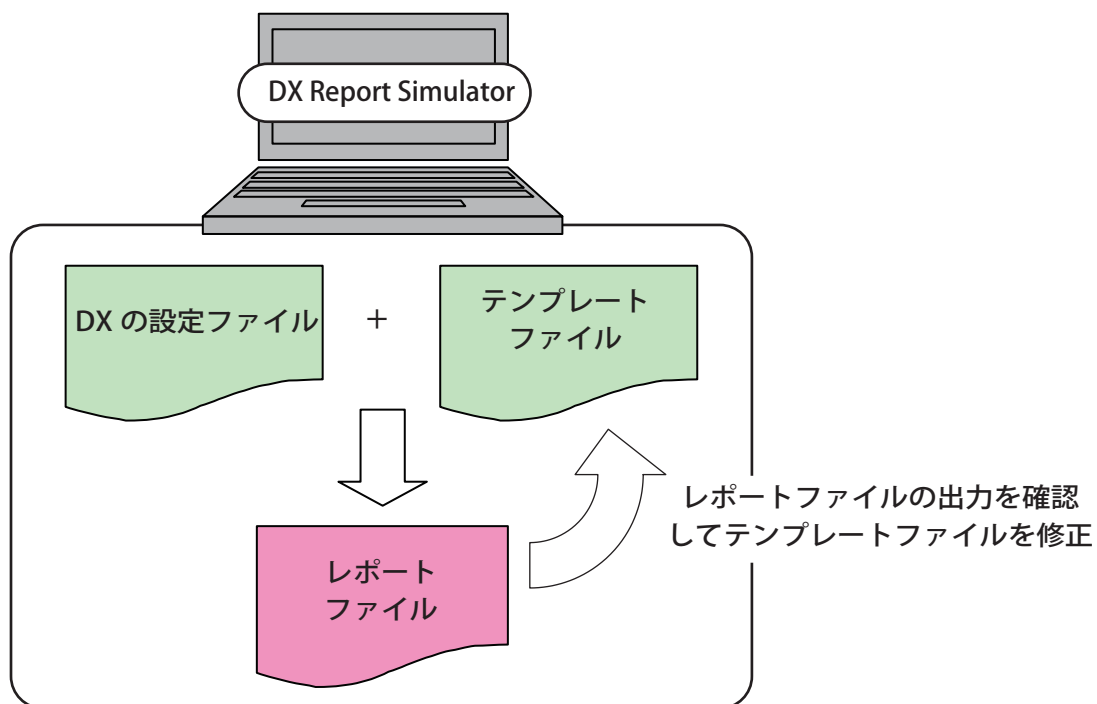
品名	説明
PC	拡張子 .xml のファイルと関連付けられたアプリケーション (Microsoft Excel) がインストールされていることが必要です。動作環境については下表をご覧ください。
DX Report Simulator	このシミュレータです。下記 URL からダウンロードしてください。 http://www.yokogawa.co.jp/ns/dxadv/download/
DX の設定ファイル	DX1000、DX1000N、または、DX2000 の設定ファイルです。拡張子 .PDL または .PEL です。
帳票テンプレートファイル	帳票テンプレートファイルです。拡張子は .xml です。

PC の動作環境

OS	Windows XP	Windows Vista	Windows 7
バージョン	Professional SP2、SP3 (Professional x64 Edition を除く)	Business SP2 (64 ビット版を除く)	Professional (64 ビット版を除く)
CPU	Pentium II 333MHz 以上	Pentium IV 3GHz 以上	
メモリ	128MB 以上	2GB 以上	
ハードディスク	空き要領が 100MB 以上。NTFS を推奨。		

1.2 機能

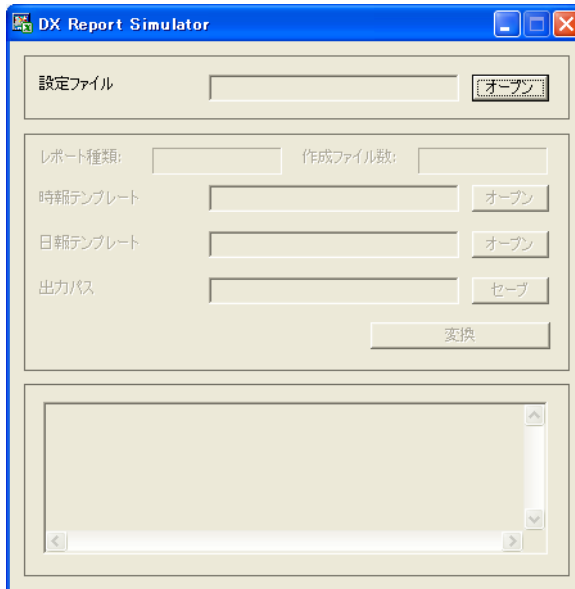
DX の帳票テンプレート機能とは、Microsoft Excel で作成した帳票テンプレートに従ってレポートを出力する機能です。本シミュレータは、DX の設定ファイルと帳票テンプレートファイルにより模擬のレポートファイルを出力します。レポートのフォームや出力内容を確認できます。



2. レポートファイルを出力する

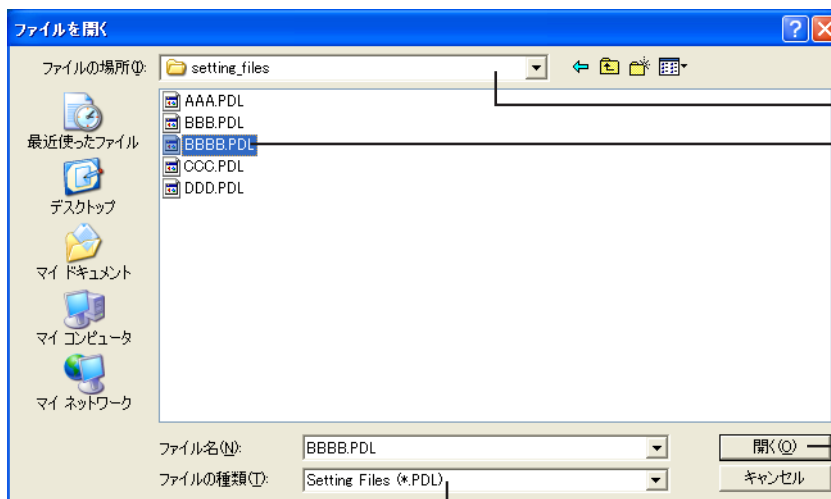
2.1 DX Report Simulatorを起動する

SimulatorJp.exeをクリックします。DX Report Simulatorの画面が表示されます。



2.2 設定ファイルを指定する

1. [設定ファイル]の[オープン]ボタンをクリックします。
[ファイルを開く]ダイアログが開きます。
2. ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。



フォルダを選択する。
ファイルを選択する。

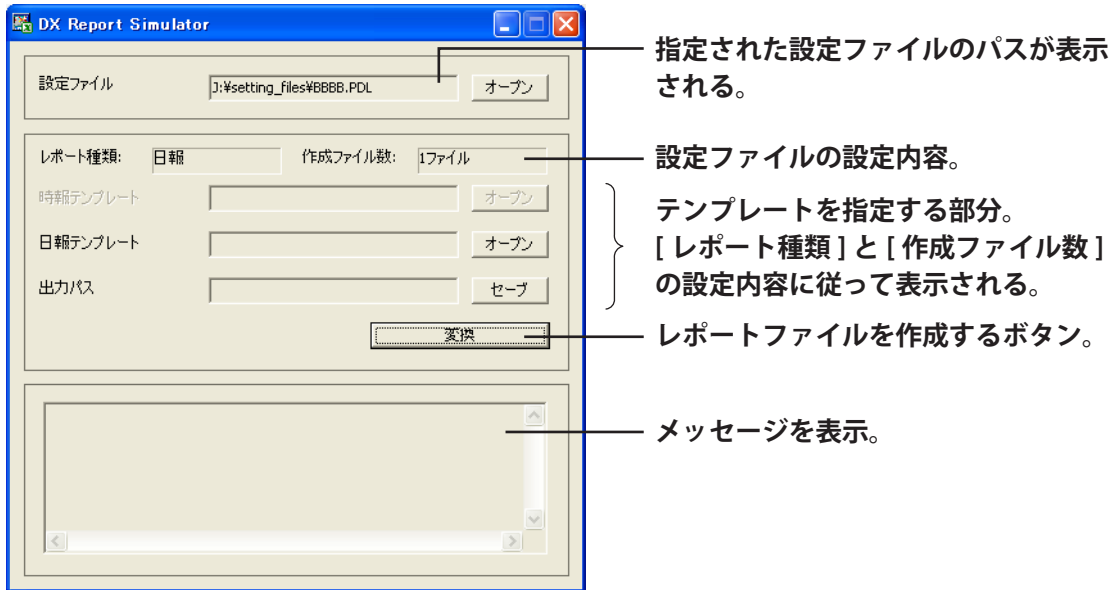
[開く]をクリック。

ファイルの種類を選択する。

*.PDL : 拡張セキュリティ機能 (付加仕様 /AS1) なし

*.PEL : 拡張セキュリティ機能 (付加仕様 /AS1) あり

設定ファイルが指定されました。



設定ファイル設定内容

項目	表示内容	説明
レポート種類	時報、日報、時報 + 日報、日報 + 週報、日報 + 月報	作成するレポートの種類です。DX 本体では、基本設定モードの [設定メニュー] タブ > [レポート] > [基本設定] > [レポート種類] で設定します。
作成ファイル数	1 ファイル、分割	1 ファイル：2 種類のレポートを作成する場合、レポートデータをひとつのファイルに保存します。 分割：2 種類のレポートを作成する場合、レポート種類ごとにファイルを作成します。 DX 本体では、基本設定モードの [環境設定] タブ > [レポート] > [作成ファイル数] で設定します。
帳票機能	帳票テンプレート機能を使用するためには、この項目が [有] に設定されていることが必要です。[無] に設定されている場合、メッセージが表示され、その設定ファイルは指定できません。DX 本体では、基本設定モードの [環境設定] タブ > [レポート] > [帳票機能] で設定します。	

テンプレートを指定する部分は、レポート種類と作成ファイル数の設定内容によって以下の表示になります。

[時報テンプレート]、[日報テンプレート]、[週報テンプレート]、[月報テンプレート]、
[時報 + 日報テンプレート]、[日報 + 週報テンプレート]、[日報 + 月報テンプレート]

ここでは、

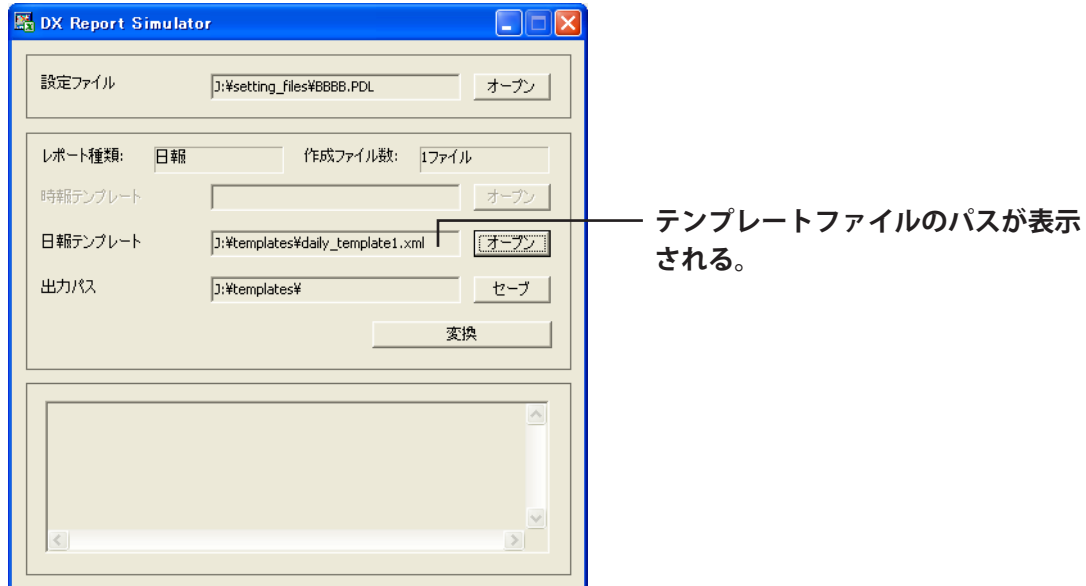
レポート種類 : 日報

作成ファイル数 : 1 ファイル

の場合を例として、操作方法を説明します。

2.3 テンプレートファイルを指定する

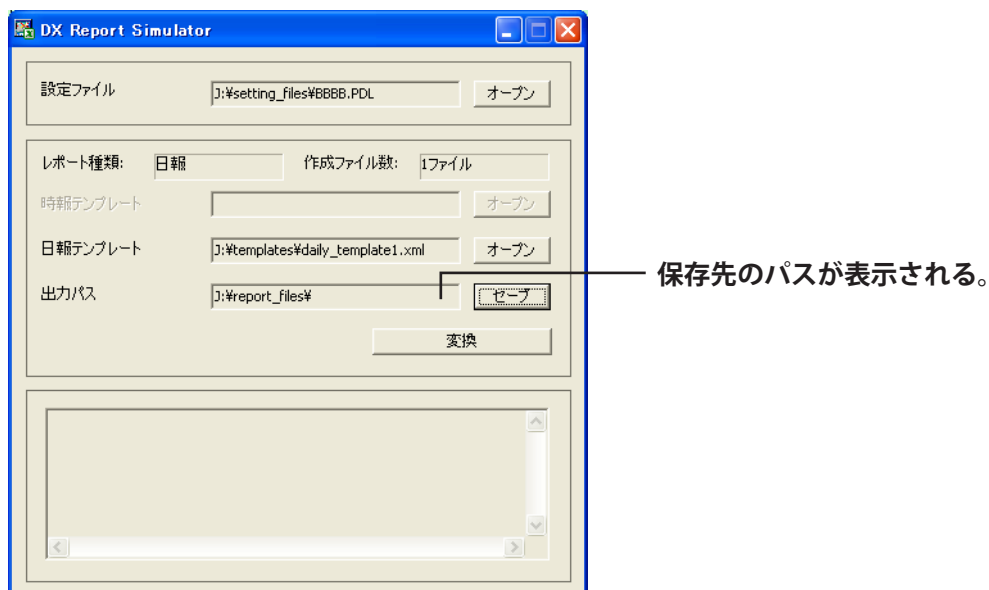
1. [日報テンプレート]の[オープン]ボタンをクリックします。
[ファイルを開く]ダイアログが開きます。
2. ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。
テンプレートファイルが指定されました。



2.4 レポートファイルの保存先を指定する

テンプレートを指定したときに、テンプレートのフォルダが、レポートファイルの保存先として自動的に設定されます。保存先を変更する場合、以下の操作を行います。

1. [出力パス]の[セーブ]ボタンをクリックします。
[フォルダの参照]ダイアログが開きます。
2. フォルダを選択して[OK]ボタンをクリックします。
保存先が指定されました。



2.5 レポートファイルを作成する

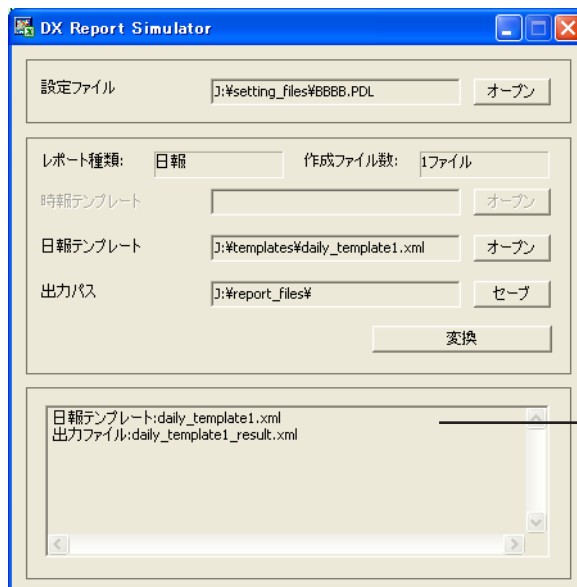
[変換] ボタンをクリックします。

作成されたレポートファイルが保存、表示されます。レポートファイルのファイル名は、テンプレートファイルのファイル名に「_result」を付加したものになります。

例 テンプレートファイル名が「daily1.xml」の場合、レポートファイルのファイル名は「daily1_result.xml」となります。

daily_template1_result.xml									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2	DXAdvance 日報								
3	作成時点		2010/5/26						
4									
5	種類	レポート日時	CH01						
6			瞬時値	MIN	MAX	AVE	SUM	瞬時値	
7	日 報	2010/04/02 00:00:00	0.3201	0.1201	0.4201	0.2201	5201.0	0.3201	
8		2010/04/03 00:00:00	0.3202	0.1202	0.4202	0.2202	5202.0	0.3202	
9		2010/04/04 00:00:00	0.3203	0.1203	0.4203	0.2203	5203.0	0.3203	
10		2010/04/05 00:00:00	0.3204	0.1204	0.4204	0.2204	5204.0	0.3204	
11		2010/04/06 00:00:00	0.3205	0.1205	0.4205	0.2205	5205.0	0.3205	
12		2010/04/07 00:00:00	0.3206	0.1206	0.4206	0.2206	5206.0	0.3206	
13		2010/04/08 00:00:00	0.3207	0.1207	0.4207	0.2207	5207.0	0.3207	
14		2010/04/09 00:00:00	0.3208	0.1208	0.4208	0.2208	5208.0	0.3208	
15		2010/04/10 00:00:00	0.3209	0.1209	0.4209	0.2209	5209.0	0.3209	
16		2010/04/11 00:00:00	0.321	0.121	0.421	0.221	5210.0	0.321	
17		2010/04/12 00:00:00	0.3211	0.1211	0.4211	0.2211	5211.0	0.3211	
18		2010/04/13 00:00:00	0.3212	0.1212	0.4212	0.2212	5212.0	0.3212	
19		2010/04/14 00:00:00	0.3213	0.1213	0.4213	0.2213	5213.0	0.3213	
20		2010/04/15 00:00:00	0.3214	0.1214	0.4214	0.2214	5214.0	0.3214	
21		2010/04/16 00:00:00	0.3215	0.1215	0.4215	0.2215	5215.0	0.3215	
22		2010/04/17 00:00:00	0.3216	0.1216	0.4216	0.2216	5216.0	0.3216	
23		2010/04/18 00:00:00	0.3217	0.1217	0.4217	0.2217	5217.0	0.3217	
24		2010/04/19 00:00:00	0.3218	0.1218	0.4218	0.2218	5218.0	0.3218	
25		2010/04/20 00:00:00	0.3219	0.1219	0.4219	0.2219	5219.0	0.3219	
26		2010/04/21 00:00:00	0.322	0.122	0.422	0.222	5220.0	0.322	
27		2010/04/22 00:00:00	0.3221	0.1221	0.4221	0.2221	5221.0	0.3221	
28		2010/04/23 00:00:00	0.3222	0.1222	0.4222	0.2222	5222.0	0.3222	

メッセージが表示されます。レポートファイルが作成されない場合、メッセージを確認して対処してください。メッセージについては「4. メッセージと対処方法」をご覧ください。

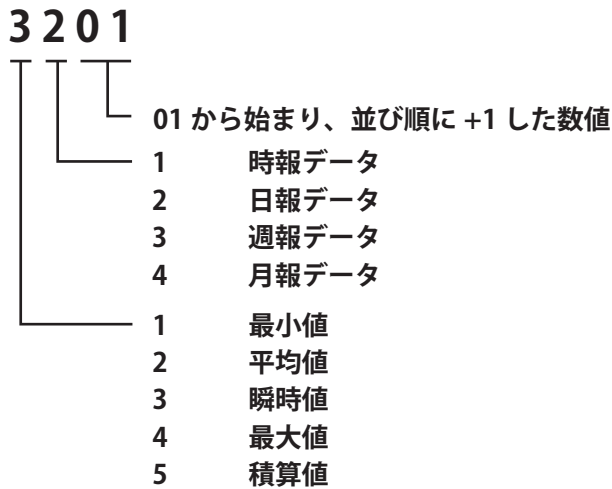


メッセージが表示される。

時報と日報のように、2種類のレポートをレポート種類ごとに作成する設定 ([作成ファイル数] が [分割]) のときは、2つのレポートファイルが作成され、表示されます。

3.2 数値の表示について

平均値などの値は次の規則に従って表示されます。



小数点位置

最小値、平均値、瞬時値、最大値の小数点位置は、そのチャンネルの入力レンジの小数点位置と同じ位置になります。

例

小数点以下桁数が 4 桁の場合、日報の瞬時値は下記のようにキーワードと対応します。

キーワード	レポート出力
\$ReportDataInst(Day)\$	0.3201
\$Repeat\$	0.3202
\$Repeat\$	0.3203

積算値は小数点以下桁数 6 桁の指数で表示されます。

例

日報の積算値は、「5.201000E+3」と表示されます。

小数点

小数点の表記(「.」または「,」)は、セルの書式に従います。ただし、テンプレートで作成したレポートファイルのデータが文字列の場合、小数点の表記は設定ファイルの小数点種類の設定に一致します。小数点種類は、DXの基本設定モードの、[環境設定] タブ > [一般環境設定] で設定します。

3.3 エラー表示の例

■ キーワードがそのまま表示される

原因

キーワードの記述が正しくありません。誤記や書式の間違いがあります。

例

\$ReportDataInst(daay,R01)\$ の「daay」が綴り間違い。

DXAdvance reportMWD template4_result.xml				
1	2	3	4	5
2	DXAdvance 日報			
3	作成時点	2010/5/26		
4				
5	種類	レポート日時	瞬時値	MIN
6		2010/04/02 00:00:00	\$ReportDataInst(daay,R01)\$	0.1201
7		2010/04/03 00:00:00		0.1202
8		2010/04/04 00:00:00		0.1203
9		2010/04/05 00:00:00		0.1204
10		2010/04/06 00:00:00		0.1205
11				

説明

ひとつのキーワードを記述するフォントが統一されていない場合も書式間違いになります。キーワードの書式については、DX1000/DX1000N ユーザーズマニュアルまたは DX2000 ユーザーズマニュアルの 9.6 節をご覧ください。

■ 日付が正しく表示されない

原因

テンプレートの書式が正しく設定されていません。

例

テンプレートの該当するセルの表示形式が「標準」になっている。

DXAdvance reportMWD template4_result.xml				
1	2	3	4	5
2	DXAdvance 日報			
3	作成時点	2010/5/27		
4				
5	種類	レポート日時	瞬時値	MIN
6		40270	0.3201	0.1201
7		40271	0.3202	0.1202
8		40272	0.3203	0.1203
9		40273	0.3204	0.1204
10		40274	0.3205	0.1205
11		40275	0.3206	0.1206
12				

説明

日付や時刻の表示、数値の小数点位置合わせなどもセルの書式で設定します。

4. メッセージと対処方法

DX Report Simulator では次のようなメッセージが表示されることがあります。

メッセージ	説明(対処方法)
設定ファイルがありません。	存在しないファイルです。指定したファイル名やフォルダが正しいか確認してください。
設定ファイルが正しくありません。	設定ファイルが壊れている、または設定ファイルのフォーマットが正しくありません。
レポート種類が Off に設定されています。	基本設定モードの [設定メニュー] タブ > [レポート] > [基本設定] > [レポート種類] が [Off] に設定されています。[Off] 以外に設定されている設定ファイルを指定してください。
レポート帳票機能が無しに設定されています。	基本設定モードの [環境設定] タブ > [レポート] > [帳票機能] が [無] に設定されています。[有] に設定されている設定ファイルを指定してください。
テンプレートファイルが正しくありません。	テンプレートファイルのサイズが 400KB を超えています。または、テンプレートファイルのフォーマットが正しくありません。
テンプレートファイルがありません。	存在しないファイルです。指定したファイル名やフォルダが正しいか確認してください。
ディスクの空き容量が不足しています。	空き容量を確保してください。
XX 帳票ファイルが存在します。上書きしますか？	上書きするかしないかを判断して操作してください。
ファイルの保存に失敗しました。	存在しない出力パスです。指定した出力パスが正しいか確認してください。

改訂情報

資料名称 : DX Report Simulator 操作説明書

資料番号 : TI 04L41B01-04JA

2010年6月／初版

新規発行

■ 著作者 横河電機株式会社
■ 発行者 横河電機株式会社
〒 180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
